

令和4年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 総合政策部 地域振興課
電話番号 0835(25)2253

1 施設の概要

施設名称	防府市地域協働支援センター
設置目的	住民の福祉の向上に寄与する市民の活動を総合的に支援するとともに、市民との協働のまちづくり及び地域住民の相互交流を促進し、もって地域のにぎわいの創出と活性化に資するため、地域協働支援センターを設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと
	代表者	代表理事 堀越 政美
	所在地	防府市栄町一丁目1番17号
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日（3年間）	
選定方法	公募	
(非公募の理由)		
利用料金制の有無	有	

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 市民活動団体が活動する場の提供に関する業務 (2) 市民活動の啓発に関する業務 (3) 市民活動に関する情報の提供及び相談に関する業務 (4) 子育て中の親子が集うことができる場の提供に関する業務 (5) 生涯学習活動に資する場の提供に関する業務 (6) 防府市地域協働支援センター（以下「協働支援センター」という）の使用の許可に関する業務 (7) 協働支援センターの使用に係る料金に関する業務 (8) 協働支援センターの施設の維持管理に関する業務 (9) その他協働支援センターの管理運営上必要と認められる業務				
組織体制	センター長：1人（施設管理・貸館部門職員兼務） 施設管理・貸館部門：職員2人、パート6人 市民活動支援センター部門：職員2人、パート1人 施設管理・貸館部門・市民活動支援センター部門（夜間）：パート4人 合計16人				
労務環境	労働環境の整備については適正に行われている。				
利用状況	令和4年度	令和5年度	令和6年度	—	—
①利用者数（単位：人）					
	目標値	50,000	—	—	—
	実績値	41,356	—	—	—
	分析	新型コロナウイルス感染拡大予防のための利用制限などの影響を受けて、令和2年度、3年度と利用者数は減少したが、令和4年度になり利用者数も徐々にではあるが上向いて来た。			
②登録団体数（単位：登録団体）					
	目標値	230	—	—	—
	実績値	205	—	—	—
	分析	目標値までは届いていないが、登録団体数は増加傾向にある。新規登録については、ボランティアマッチングや出張講座といったセンター機能を活用する目的での登録が増加傾向にある。活動を行う上での困り事について相談対応を行う中で、センター機能を紹介し登録につなげた。			

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	—	—
指定管理料	39,600,000	—	—	—	—
利用料金	7,874,700	—	—	—	—
その他	1,300,172	—	—	—	—
収入計(a)	48,774,872	—	—	—	—
人件費	26,233,127	—	—	—	—
光熱水費	11,502,744	—	—	—	—
修繕費	0	—	—	—	—
その他	9,017,478	—	—	—	—
支出計(b)	46,753,349	—	—	—	—
収支(a-b)	2,021,523	—	—	—	—
分析	新型コロナウイルス感染拡大予防のための利用制限などにより、3年連続して影響を受けて来た。 令和4年度になり利用者も増加し、利用料収入も上向いて来たが、光熱水費等が高騰したことにより、一層の経費削減に取り組みながら業務を遂行している。				
②自主事業に係る収支					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	—	—
収入計(c)	154,500	—	—	—	—
支出計(d)	0	—	—	—	—
収支(c-d)	154,500	—	—	—	—
主な内容	講座				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	施設利用者に対してアンケートを配布し回収
	時期	令和4年11月2日(水)～30日(水)
	回収率	100%
満足度の割合	地域協働支援センターの満足度：1～5段階で5又は4を選択 全体の93% 市民活動支援センターの機能別の満足度： 会議室・作業室について 「大変よい」「まあまあ良い」を選択 全体の95% 職員の対応について 「大変よい」「まあまあ良い」を選択 全体の90%	
対応状況	利用者の満足度は、施設設備や職員の対応、講座・イベントなどで、概ね9割が満足となっている。 貸し室の利用では、オンライン研修に対応したインターネット環境、Wi-Fi機器の利用、プロジェクター機能のアップなど、情報機器関連の要望が増えて来た。こうした社会環境の変化やニーズに対応するために機器の整備とともに、スタッフのスキルアップにも努めた。 市民活動支援センターが今後取り組んで欲しいことでは、「団体と行政・企業等との協働の促進」と「寄附文化の醸成」を選択したものが多くなって来た。クラウドファンディングの取り組みが広く認知されるようになり、団体の活動基盤強化の取り組みとともに、課題解決に向けて協働した取り組みや共感を呼び掛ける活動が増えて来ている。また、団体の事務力・基盤強化に向けての研修やサポートも継続して取り組んだ。行政や企業との協働、社会課題を把握し提案できる人材の育成・スキルアップに努めるとともに、支援体制の充実を図った。	

6 評価

<p>指定管理者による 自己評価</p>	<p>利用者数では、新型コロナウイルス感染拡大予防のための利用制限などの影響で、前年度に引続き目標値を下回ることとなったが、感染者数の減少に伴い規制緩和の動きも見られ、利用者数も上向き傾向となった。利用料収入も前々年度、前年度と減少していたが、少し上向きとなって来た。しかし社会情勢の影響を受け、光熱水費の急騰が始まり、またその他の経費も増加傾向となり、今まで以上に経費削減や見直しを行い、収支のバランスを取りながら運営を行った。各部屋にインターネット環境が整備されているという強みを活かし、オンラインやハイブリットでの研修や運営の提案を行い、認知度が向上するとともに利用も増えてきた。備品の充実やスタッフのスキルアップ、提供という形でサポートし、利用者のニーズに合わせた対応を進めてきた。</p> <p>市民活動支援センター登録団体数については、ボランティアマッチングや出張講座といったセンター機能を活用する目的での登録が増加した。また、自治会などの地縁組織や子育て支援団体などによる登録も増加した。</p> <p>今後も当センターの強みであるネット環境などの設備と、オンライン活用や情報発信などの市民活動支援の専門性を生かし、新たな利用や登録につなげていけるよう、ホームページやリーフレット、個別相談などを通じた働きかけを継続していく。</p>
<p>市の評価</p>	<p>【貸館部門】</p> <p>貸館については、新型コロナウイルス感染症の影響をうけたが、オンラインによる会議運営等の支援を行うなど、利用者のサービス向上に努めた点や、親子ふれあい広場等においても新型コロナウイルス感染症対策に取組み、安心安全な施設運営に取り組んだ点は評価できる。利用者からのアンケートからもその満足度は高く、今後も安全・安心な利用環境づくりに取り組み、利用者の増加につながる取組に期待する。</p> <p>【市民活動支援センター部門】</p> <p>登録団体数については、近年と比較すると大きく増加している。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、オンライン等の活用により活動の継続支援を行った点は評価できる。今後は、コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わった事も考慮し、既存の団体や新規登録団体との交流促進・協働支援を行いやすい環境を整え、市民活動団体の活動の発展や拡大に繋がる事を期待する。</p>